

## 知内町交通事故死ゼロ 3,000 日を達成 油断大敵！いつまでも交通安全

## 町内の交通安全意識強化 早朝街頭啓発運動

知内町で交通事故死ゼロが3月7日で3,000日に達し、北海道や関係団体から町に感謝状などが贈られました。

3月8日には、渡島総合振興局長の鳴海拓史氏が来庁。3,000日の達成を記念し、北海道知事からの感謝状、北海道交通安全推進委員会からの表彰状と盾を町交通安全運動推進委員会会長を務める西山町長に手渡しました。

今回の記録は、渡島・松山管内では上ノ国町に次いで2番目の長さになっています。

鳴海拓史氏は「死亡無事故3,000日を達成したことに敬意を表す。今後も継続してほしい」と激励。西山町長は「町民や各関係機関の皆様が努力をした結果だと思ふ。これからも死亡事故ゼロを啓発していきたい」と応えました。

4月6日から15日までの「春の全国交通安全運動」の期間に合わせて、町民の皆様のご協力を得ながら、交通事故を防ぐため、様々な活動が実施されました。

北海道警察によると、道内では今年に入ってから4月5日までの3ヶ月余りで2,267件の人身事故が起きているというところで、運動期間中、町内主要道路沿いでは、早朝に旗の波運動が行われ、通りかかる車に黄色い旗を掲げ、交通安全を呼びかけました。



きらく地区



上雷地区



感謝状を掲げる西山町長（右）  
鳴海局長（左）

## 渡島管内スポーツ少年団 協議会表彰伝達



荒木周子氏（左）、上野忠明氏（右）

長年にわたるスポーツ少年団指導の功績を表し、渡島管内スポーツ少年団協議会表彰の伝達が3月29日に中央公民館で行われました。

スキー少年団や陸上クラブの指導者として各団員の指導にあたり、全国大会出場者を多く輩出した上野忠明氏と、バレーボールクラブの監督として、全道大会に数多く出場し、上位の成績を残した荒木周子氏へ功績を讃え、今回の伝達となりました。

## 体積土砂撤去のボランティア 丸協土建(株)へ感謝状贈呈



左から山谷氏、小山氏、西山町長、若山氏

町に貢献いただいた、丸協土建株式会社（木古内）に対する感謝状の贈呈式が3月26日に町民センターで行われました。

中ノ川とサンナス川の合流部周辺の体積土砂等の撤去工事により、排水対策が向上し、安全確保が保たれることとなりました。

ボランティアをしていただきまして誠にありがとうございました。

## 新一年生の安全を願い、町内の様々な団体から 教育委員会へ防犯グッズなどが贈られました

令和3年3月17日



木古内地区安全運転  
管理者協会から傘



三洋食品㈱から防犯ベル



商工会女性部から愛の鈴



知内町身障協会から  
交通安全のマスコット

上記のほか、「木古内地区交通安全協会」等の7団体及び2個人から「ランドセルカバー」「手作り布製マスク」「手作りしおり」などが贈られました。

## ごみゼロのきれいなまちづくり

### 春の全町一斉清掃を実施

令和3年4月11日



春の全町一斉清掃が町内会主導のもと行われました。当日は、天候に恵まれ大勢の町民の皆様が参加しました。町内会ごとに、道路脇や自宅前のごみ拾いを実施し、暖かい春の陽気の中「ごみのないきれいなまちづくり」への町民の願いが込められた一日となりました。これからも、きれいなまちづくりに向け、ご協力をお願いします。

## 第6回知内学のすすめを開講 郷土資料館のあゆみを振り返る



町の歴史とともに高橋氏の歴史を振り返りました



最後の講義を行う高橋氏

第6回目を迎える郷土資料館主催「知内学のすすめ」が3月18日、中央公民館で開講されました。講師である学芸員の高橋豊彦氏は郷土資料館と共に32年、町内の自然や文化に触れる体験教室や学習講座を開くなど、資料館ならではの教育活動に取り組んできました。

今回は、昨年7月に最初の講義が開かれた同講座の最終回であり、郷土資料館の役割や現在に至るまでの活動内容を写真や映像を利用しながら、自らが企画した知内川での砂金堀や役場庁舎屋上での天体観測などを振り返り、今後の在り方を模索する形で講義が進められていました。

参加者約30名を前に最後の講義を終えた高橋氏は「資料館の存在意義を模索し続けた32年間だった」と振り返りました。

※高橋氏は3月31日で嘱託期間満了により退職しました。